

協働によるまちづくり地区集会 開催形式について

令和6年度、令和7年度

- (1)全地区（33地区、32まち協）を2つに分け隔年開催とする
- (2)開催時間帯を平日の午前・午後・夜からの選択制とする
- (3)開催方式をワークショップ方式と地域からの意見や要望に対する報告と意見交換方式の選択制とする



令和6年4月

掛 川 市
掛川市区長会連合会
掛川市地区まちづくり協議会連合会

開催の目的

市政の課題や地区の課題を、自治区役員やまちづくり協議会役員と行政が情報共有及び課題解決に向けて対話することを目的とします。また、対話の内容は、課題解決に向けて翌年度以降の施策等に反映されたり、寄せられた意見・要望・アイデア等は、「市民と市長の交流ノート」に記載・管理し、継続して取り組んでいくなど、まちづくりへの市民参画を担保します。

開催形式の経緯

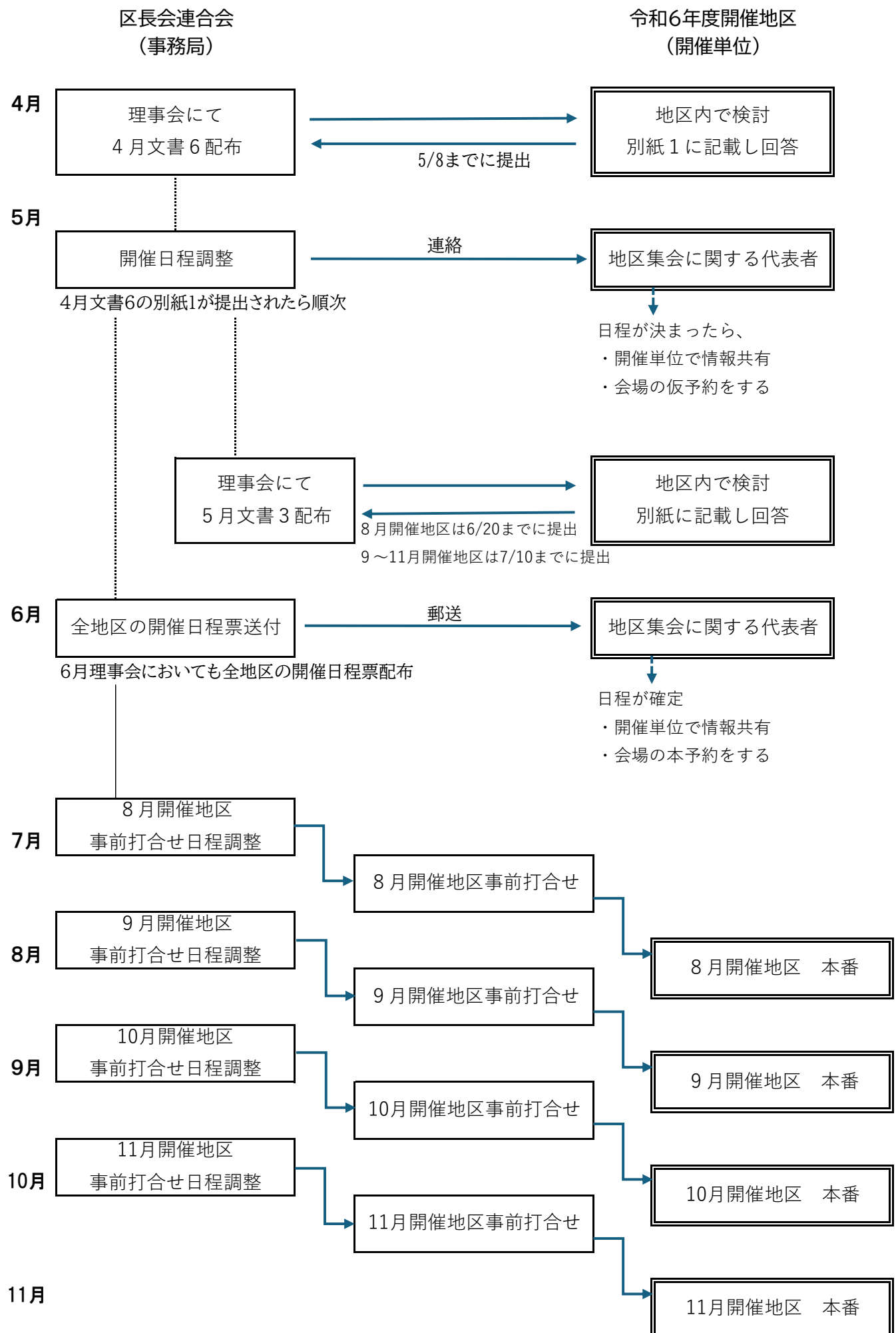
近年の社会情勢の変化を踏まえるとともに、開催に係る負担軽減を考慮し、開催形式に関する検討を進めてきました。

- 令和元年度
 - ・開催方法のあり方について、区長会連合会とまちづくり協議会連合会と協議検討のため、一年休止
 - ・検討の結果「地区単位開催」「中学校区単位開催」の2つの方式で交互に実施することを決定した
- 令和2年度
 - ・新型コロナウイルス感染拡大予防のため、「中学校区単位開催」のみとし、9会場で実施
- 令和3年度
 - ・新型コロナウイルス感染拡大予防のため、全地区集会を中止
 - ・代替事業として、ファシリテーターを起用した「かけがわまちづくりミーティング 2021」を開催
- 令和4年度
 - ・開催単位を地区から中学校区単位まで、地区の選択制とし29会場で夜間に開催
- 令和5年度
 - ・令和4年度と同じ形式で、平日昼間に開催
 - ・全地区集会終了後、全区長・まちづくり協議会会長を対象としたアンケート調査を実施した
 - ・アンケート結果を踏まえた令和6年度開催形式について、2月区長会連合会理事会に諮り了承された

<令和5年度開催の様子>

『地域からの質問や要望に対する報告と 意見交換による開催地区』	『ワークショップによる開催地区』
1 開会 2 地元代表挨拶 3 自己紹介 (オブザーバー) 4 市長挨拶 5 対話 (1) 共通テーマ 「持続可能な自治区運営について」 (2) 地区自由テーマ 6 閉会 	1 開会 2 地元代表挨拶 3 自己紹介 (オブザーバー) 4 市長挨拶 5 対話 (1) 主旨及び進め方の説明 (2) 区長会連合会の取組報告（共通テーマ） (3) グループ討議、発表 6 閉会 
メリット ・地区課題の共有が図られる ・要望に対する市の考えを直接聞く機会となる デメリット ・同じ課題や要望の繰り返しとなることがある ・発言は説明者や質問者等一部の方のみとなる	メリット ・参加者全員が発言する機会が得られる ・多くのアイデアが生まれる デメリット ・この場だけで解決するのは難しい場合がある ・当日の時間配分など、事前に調整する必要がある

地区集会開催までのステップ



4月文書6の別紙1について地区内で検討する

- (1) 希望の開催月と時間帯
- (2) 開催単位（地区のみ？ 中学校区など合同で？）
- (3) 開催会場
- (4) 地区集会に関する代表者

★決定事項を別紙1に記入、5月8日(水)までに生涯学習協働推進課に提出します。

4月文書6の別紙1を提出すると、事務局から連絡がきます

地区集会に関する代表者の方に連絡をしますので、ご対応をお願いします。

5月文書3の別紙(黄色の紙)について開催単位で検討する

- ・ 開催方法を決める（ワークショップ？ 質問や要望に対する報告と意見交換？）
- ・ 地区別テーマを決める
- ・ テーマ選定理由を考える
- ・ 具体的な進め方考える

※ ワークショップで開催する場合は外部ファシリテーターを活用するか検討

★決定事項を別紙(黄色の紙)に記入、生涯学習協働推進課に提出します。

8月開催地区は6月20日(木)まで

9月～11月開催地区は7月10日(水)まで

地区集会の日程が確定したら、会場の本予約をする

併せて駐車場の確保をお願いします。

事前打合せについて

事前打合せは、地区集会がより有意義なものとなるよう開催日の約1カ月前に行います。

日程は、事務局から地区集会に関する代表者の方と調整させていただきます。

出席いただくのは、代表者の方・司会・テーマ説明者など。

日程が決ったら、以下についてご準備ください。

- ・ 事前打合せ会議室等の確保と参加者の調整
- ・ 地区集会出席者の人数把握（資料印刷部数を確認）
- ・ 開催当日の役割分担

地元代表あいさつ、司会、地区別テーマ説明者、受付、会場準備、駐車場整理など

- ・ 地区別テーマの説明資料（写真・地図など）
- ・ パソコン、プロジェクター、スクリーンを使用するか

記入例 1

令和6年度 ○○地区集会 地区別テーマ

開催方法 以下の中から一つ選んで、□にレ点を付けてください。

☒ ワークショップ

☐ 質問や要望に対する報告と意見交換

地区別テーマ

『地域の資源を活かしたまちづくりで、住みやすい地区へ』

テーマ選定理由

高齢化により、田畑の耕作放棄地が増えることが心配される。

空き家が増えており、環境・防犯の面が心配である。

お祭りなど、地域が大事にしてきた行事や伝統文化を次の世代に継承していきたい。

地域としてどのようなことに取り組めばいいのかわからない。

具体的な進め方または提案等

- ① これは○○地区の自慢と言えるものを挙げる
(改めて自分の地区・自治区の特色・良い点を共有する)
- ② 空き家の活用など、他市や他地区の成功事例を知りたい
- ③ 提案理由に関する市の施策を聞きたい
- ④ ○○地区をどうしたいか、どうなったらいいかを想像してみる
- ⑤ ④を実現するためにはどうしたらいいかを考える
 - ・個人や世帯でできる事は何か
 - ・地域でできる事は何か
 - ・市の支援が必要なものは何か
- ⑥ ④を実現するためのスケジュールを考える

記入例 2

令和6年度 ○○地区集会 地区別テーマ

開催方法 以下の中から一つ選んで、□にレ点を付けてください。

☒ ワークショップ

☐ 質問や要望に対する報告と意見交換

地区別テーマ

『働いていてもできる、役員の負担が少ない地区活動を考える』

テーマ選定理由

定年延長や自営業者の減少から、地区・自治区役員の担い手不足が深刻な状況である。休暇を取って地区や自治区の事業運営や市の依頼事項等に対応しているため、仕事に影響が出ている。止めてもいい仕事・事業があるように思うが、以前からやってきたことを変えるのは難しく、何を基準に考えればいいのかわからない。

地区や自治区で計画したイベントの参加者が少なく、役員として一生懸命やってもやりがいを感じられない。

地区・自治区に対する地域住民のニーズを聞いてみたいが、どうすればいいのかわからない。

具体的な進め方または提案等

- ① 他地区や他市の先進事例を紹介してもらう
- ② 改めて自分の地区・自治区の特色・良い点を共有する
- ③ 区長に限らず色々な役員からも、ニーズを聞き出す
 - ・参加者に聞く
 - ・アンケート調査を行うなら質問事項を考える
- ④ やめてもよい事業、続けたい事業、やってみたい事業を考える
- ⑤ 来年度の事業計画を立ててみる

記入例 3

令和6年度 ○○地区集会 地区別テーマ

開催方法	以下の中から一つ選んで、□にレ点を付けてください。
☐ ワークショップ	☒ 質問や要望に対する報告と意見交換
地区別テーマ	『○○地区が抱える諸課題について』
テーマ選定理由	近年、戸建て住宅団地の造成やマンションの建設が急速に進み、人口の増加、特に子育て世代が増加するなど、地域をとりまく環境が著しく変化している。 人口が増えると車の交通量の増加やゴミの問題、自治活動への協力に対する理解など、様々な課題が浮き彫りになってきた。従来から地区内に住んでいる人たちと新しく地区住民となった人たちのコミュニケーションが図れ、住みやすい地区となるよう市の意見を伺いたい。
具体的な進め方または提案等	① 転入・転居者への自治会加入に対する理解を求めるための方法 自治会に加入するまでの流れや転入者の説明の仕方など、経験の浅い役員でも困らないような方法はないか。 ② 人口増加は日本人だけではなく、外国人も少なからず増加している。ゴミ出しルール作成への支援などができないか。 ③ 人口増加に伴い、現在の一時避難所の規模や数などで災害時に対応できるか不安であるため、避難所のあり方などについて教えてほしい。 ④ 子育て世代が多くなり、今後、通学路の安全対策が考えられる。道路の拡幅や補修、横断歩道の設置などが必要と考えるが、検討していることはあるか。

※地区テーマの選定については、

以下も参考にしてください。

- ア 健康増進 健康づくり、介護予防、スポーツ
- イ 青少年健全育成 子育て支援、子ども育成、学校ボランティア
- ウ 高齢化対策 地域生活支援、生きがいづくり
- エ 生活環境の向上 環境美化、ごみの減量、省エネルギーの推進
- オ 文化振興 歴史文化、伝統芸能
- カ 産業振興 地域農業、地域観光
- キ 住環境の向上 景観保護、緑化推進、定住促進
- ク 防災防犯 減災、交通安全
- ケ 地域社会の形成 まちづくりを担う人づくり、住民相互の交流

《 ワークショップ方式の例 》

地域の将来を考えたい。

目指す将来像に近づくためにはどうしたらいいか。

中長期的な計画について意見交換したい。

現在抱えている具体的な課題を地域内で共有し、改善策を皆で一緒に考えたい。

参加者から多くのアイデア・意見を聞きたい。

こんな時に有効です

◎ワークショップの進行はファシリテーターが行います。（司会が兼務してもOK）

◎参加者を5～6人程度のグループに分けて意見交換します

◎テーマの選定理由を説明し、現状を参加者が共有
テーマに沿った先進事例など情報提供でイメージを
膨らませるとスムーズに意見交換できます



◎付せんを使って意見を出し合うこともOK

◎個人でできること、
地域で取り組むこと、
市に依頼したいことなど、
意見やアイデアをまとめます



◎グループ内の意見を発表

皆さんの意見やアイデアが詰まった模造紙は、
来年度の事業検討時など有効な資料となります。



※市長、副市長をはじめ、市側の出席者がグループに入ることもできます。

※当日の様子は録画していますので、開催後に確認することができます。

◆ファシリテーターとは

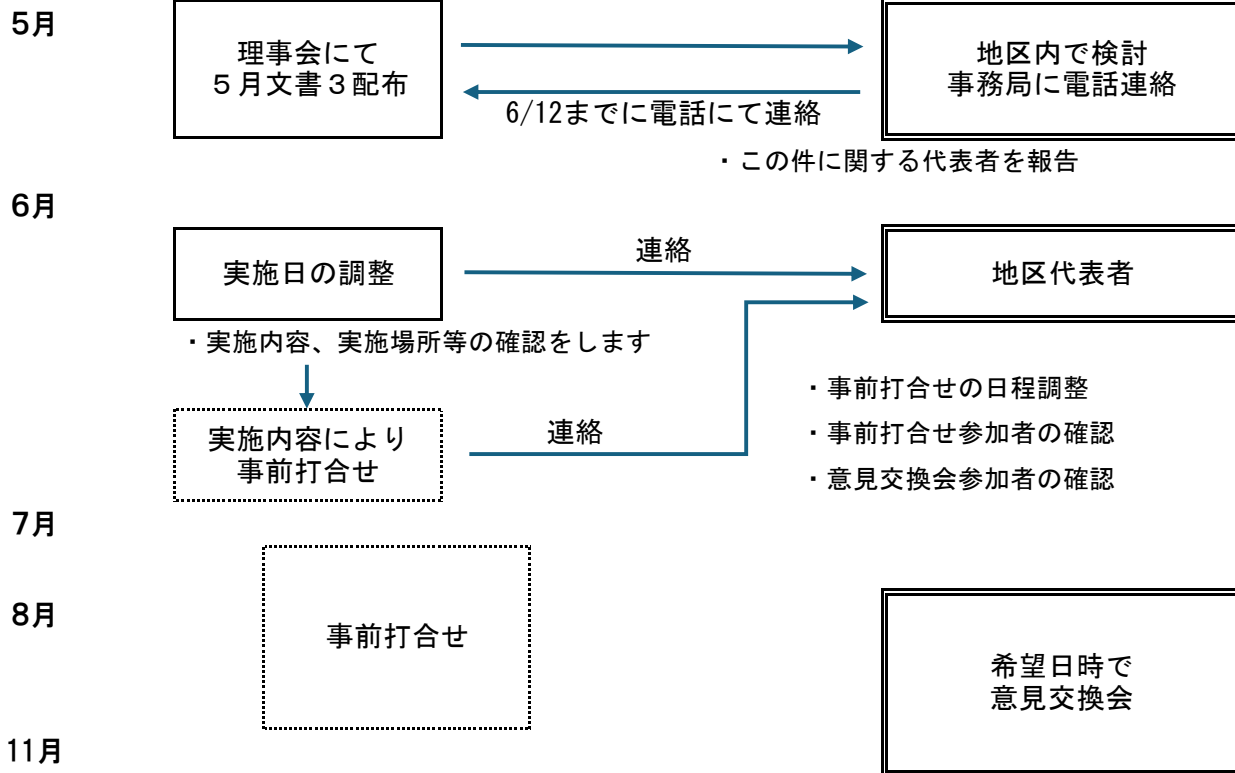
中立な立場で会議中に出た意見をまとめ、より良い結論に導く役割を担う人です。

各テーマや前年度地区集会のフォローアップなどを行いたいとき
(令和6年度未開催地区)

区長会連合会
(事務局)

令和6年度未開催地区
(開催単位)

【意見交換を実施する場合】



【文書にて回答を求める場合】

